

令和3年度 保護者による「学校評価アンケート」の分析結果について（ご報告）

保護者の皆様には、お忙しいなか「学校評価アンケート」にご回答いただき、ありがとうございました。回収率は98.6%（前年度98.7%、一昨年99.2%）と、非常に高い回収率が維持できました。アンケートの集計結果及び分析について以下の通りご報告申し上げます

15個の質問項目は昨年度と同じです。

- | | |
|--------------|---------------|
| A よくあてはまる | B ややあてはまる |
| C あまりあてはまらない | D まったくあてはまらない |

結果は、グラフⅠ「評価項目前年度比較」とグラフⅡ「評価項目学年別比較」の2種類の資料にして示しています。

グラフⅠでは、令和元年度・2年度・3年度のデータの比較ができます。今年度は15項目中13項目で肯定的評価であるA・Bの合計が90%を超えました。90%を超えていない項目は5『**わかりやすい授業や学習指導**』で、進路実現に向けてしっかりと学習をさせ、学力を向上させる指導を行うべきであるという意見をお持ちの方が多くいることが分かります。また、コロナの影響なのか、学校行事の制限や行動制限等を余儀なくされることが多く、12『**子供は学校に行くのが楽しそうである**』という項目の評価が低くなっています。グラフⅡでは、学年別の評価結果を見ることができます。6『**進路実現に努めている**』や、10『**進路実現に努めている**』など、いくつかの項目では、3年生の評価が他の学年より高くなっています。

以下、各質問項目に関わる主な事柄についてご説明いたします。

質問項目1 学校は、教育方針や教育目標を、入学時の説明会、PTA総会、その他の機会、『城西高校便り』等で、適切に保護者に伝えている。（教務部）

今年度の行事も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながらの実施となりましたが、学校としては、様々な機会をとおして、学校の指導方針等をより適切にお伝えできるよう努力をしています。肯定的評価は93%近くありますが、さらに100%を目指していきます。

質問項目2 学校は、教育活動全般に対する生徒の取り組み状況について、PTA総会、学級懇談会、その他の機会、『城西高校便り』等で、適切に保護者に伝えている。（教務部）

91%以上の肯定的評価をいただいております。本校では「城西高校便り」を年間4回（4月、各学期1回）発行し、教育活動の取り組み状況やお子様の様子、行事予定等についてお知らせしています。お子様を通じて保護者の皆さまのお手元に届くように持ち帰りを呼びかけておりますが、ご家庭の方でも、折に触れてご確認くださいますようお願いいたします。また、「城西高校便り」「行事予定」等についてはホームページでもご確認いただき、さらに「MJブログ」を開設し、生徒たちの活動や活躍ぶりを随時紹介しております。これからもできる限り学校の様子を保護者にお知らせするように努めてまいります。

質問項目3 学校は、生徒の無断欠席や遅刻等の電話連絡をはじめとして、家庭との意思疎通を図るために努力している。（生徒指導部）

95%以上の肯定的評価をいただいております。生徒のことで家庭連絡の必要があると判断した場合や、ご家庭の協力が必要な場合は、担任から家庭連絡をするようにしています。また、連絡を取りたいという保護者の方からの要請があった場合も、学校から連絡を行うようにしています。

これからも生徒のために保護者の皆様と密に連携を図っていききたいと思っておりますので、気になること等ありましたらぜひご連絡くださいますようお願いいたします。

質問項目4 学校の本年度の取り組み（遅刻・服装指導、自転車マナーアップ等）は学校改善に必要である。（生徒指導部）

朝の遅刻数の変化をみてもみると、R元年度は493回、R2年度は526回、本年度は11月末の時点で426回でした。目標の450回以内は厳しい状況ですが、不注意による遅刻が減るように努力したいと思います。また、服装や頭髪についても状態は、概ね良いと思います。教師の眼が届かないところでもきちんと制服を着こなし、心に隙を作らない生活の姿勢を身につけてほしいと思っています。登下校時の自転車マナーについては集会等で繰り返し伝えるとともに、朝の登校指導も実施しています。しかし、自転車マナーの悪さに関する一般の方からの苦情が何回もあり、自転車の接触事故も発生しているので、今後も継続した指導や声かけが必要だと思っております。

交通マナーに関しては継続した指導を行い、生徒の意識を向上させ、交通社会人としての自覚を育て、自分自身で命と身体を守ってもらいたいと考えています。焦らず、ゆとりを持って運転等を行い事故の無い社会になって欲しいと思っております。ご家庭でも多発している交通事故を話題にし、注意を喚起していただきたいと思います。

質問項目5 学校は、生徒の進路希望に応じた力をつけるために、わかりやすい授業を心がけるなど、適切な学習指導に努めている。（教務部）

肯定的評価を学年別で見ると、1年生（88%）2年生（88%）3年（89%）となっております。本校では「生徒からの授業評価」実施していますが、生徒からの意見を参考にさらに授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

現在、新学習指導要領や新しい大学入試などが注目され、まさに高等学校教育の変革期を迎えています。これからは、生徒自らが課題を発見し、主体的・協働的に探究する力が求められています。本校においても、主体的・対話的で深い学びの視点に立った、いわゆるアクティブ・ラーニングを取り入れた学習活動や教員間で授業を参観し、評価する現職教育の機会を設けていますが、よりよい授業を目指してさらに研修の機会を増やしていきたいと考えています。

なお、毎年「公開授業週間」を設けておりますので、保護者の皆様もぜひご来校のうえ、実際の授業をご覧ください。

質問項目6 学校は、生徒の進路希望の実現に向け、適切な進路指導に努めている。（進路指導部）

肯定的評価を学年別で見ると、3年生（93%）、2年生（88%）、1年生（90%）となっております。

1年生には、9月に県外の大学への訪問を予定していましたが、コロナ感染を避けるため昨年到现在も実施を見送りました。しかし12月には、オンラインによる大学出前講座を実施します。進路について考えるきっかけにして下さい。2年生には10月に進路説明会を行いました。多数の保護者のご参加をいただきありがとうございました。このほか就職希望者に対しては、2年生の段階からジョブサポートティーチャーの面接指導を行い、進路意識の高揚を図る計画です。

生徒一人一人の進路希望は異なり、また入試制度改革やコロナの影響など入試を取り巻く状況も日々変わってきています。本校では「進路について考える」機会をできるだけ設けていますが、生徒自身が自分の将来について主体的に考え調べ、校外模試や様々な資料を使って研究する必要があります。進路指導においても、受け身ではなく、自ら進んで考える姿勢を育てていきたいと考えています。

各担任による個別相談は面接週間以外にも折に触れて行っております。またお子様の進路についてご心配な点や疑問があればご連絡ください。学校での懇談をご希望の場合もご相談ください。保護者の方と連携をとりながら、主体性を育てつつ、よりきめ細かな進路指導を進めていきたいと考えています。

質問項目 7 学校は、社会や集団生活のルールを守る態度を育成するため、適切な生徒指導に努めている。（生徒指導部）

交通立哨の強化、昼休みの校内巡視、遅刻指導、自転車置き場の整理指導等を職員全体で、組織的に行っています。まだまだ、教師の顔を見ながら改める場面がよくありますが、継続的な繰り返し指導を通して、生徒自身が考え、自らを律するようになることが必要だと考えています。

質問項目 8 学校は、学校生活を充実させるために、学校行事（体育祭、城西祭、修学旅行、クラスマッチ 他）の適切な企画・運営に努めている。（特別活動部）

今年度も新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大があり、学校行事の開催も危ぶまれた時期がありました。感染症対策を講じながら各学校行事を実施することができています。学校行事は、学校生活においてとても重要な役割を果たしており、生徒たちの自主性や創造力、コミュニケーション力、行動力など、さまざまな力を伸ばすことができる活動です。今度も感染症対策を講じながら、できるだけ通常の形で各学校行事を企画・運営していくことができるよう努めていきたいと考えています。

質問項目 9 学校は、生命や人権を尊重する意識を高めるために、適切な指導に努めている。（人権・同和教育部）

社会には様々な人権課題があり、社会で生きていく限り誰もがその加害者にも被害者にもなる恐れがあります。高校の人権・同和教育のホームルームは、社会に出る前に人権について考える最後の機会だと言えます。これから先の人生において人権課題に出会ったとき、正しい認識を持って対応する人になってほしいという願いのもとにホームルームを計画しています。今後も内容の見直し、精選を続け、よりよいものにしていきたいと考えています。ホームルームの内容や生徒の感想などは「人権だより」を通じてご家庭に届くようにしています。どうぞご一読いただき、家庭で話題にしていだければと思います。

例年実施している人権講演会はコロナの関係で実施できませんでしたが、次年度以降また実施を計画していく予定です。

質問項目 10 学校は、生徒の安全確保のため、交通指導や防災訓練、危険に対する注意喚起等について、適切な指導に努めている。（生徒指導部・総務部）

毎年、車との接触事故が数件起きています。現在のところは大事に至るような事故は発生していませんが、生徒には交通ルールの遵守を重ねて呼びかけています。また丸亀警察署と連携して、生徒の登校時間に合わせた危険箇所等の立哨指導を実施しています。

全校生徒によるシェイクアウト訓練、避難訓練を行い、非常時を想定した意識と実行力の育成を図っています。2年生では今年も、総合的な探究の時間を使い、防災をテーマに校外から講師も招き、調べ学習やグループ学習を実施しました。これからも、防災意識と対応力の育成をめざす取り組みを継続的に行っていきたいと考えています。

質問項目 11 学校は、生徒が充実した学校生活を送れるよう、部活動にも力を注いでいる。（特別活動部）

部活動は、技術や知識を身につけるだけでなく、目標達成に向けてどのように取り組んだらよいか、チームをよりよいものにするために自分にはどのようなことができるか、など、社会の中でたくましく生きていくために必要なさまざまな力を伸ばすことができる活動です。今年度も95%を超える生徒たちが部活動に所属し、日々それぞれの目標に向けて熱心に活動しています。

学業と部活動の両立について、一定のルールを定め、学業にも部活動にも力を注ぐことができるような環境づくりを学校全体として取り組んでいます。また、各部活動単位でも大会や行事の日程と定期考査等の時期を考慮しながら活動計画の策定を行ったり、学習会を設けたりと、工夫しながら部活動指導を行っています。今後も学業と部活動の両立を目指していきますので、ご家庭でもご指導の程、よろしくお願い致します。

質問項目 12 子供は学校へ行くことが楽しそうである。（教育相談部）

コロナにより、多くの制限がある中での生活にストレスを感じている生徒が増えていると思います。また、友達関係や勉強等、学校生活に何らかの不安を抱えている生徒が例年より増えているのも事実です。否定的評価であるC・Dの値を限りなくゼロに近づけることを目標に掲げ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しながら、個人面談、個別指導、進路ガイダンス、勉強方法の見直し等の機会を通して、生徒たちが安心して学校生活を送れるよう支援していきたいと思っています。

質問項目 13 学校は、生徒・保護者からの相談に適切に応じてくれる。（教育相談部）

お子様のことで気になることがありましたら、学級担任や教育相談担当にまず声をかけていただきたいと思います。また、毎週水曜日の午後、スクールカウンセラーの北濱雅子先生、隔週で火曜日の午後、スクールソーシャルワーカーの西谷清美先生が来校して、生徒・保護者の悩みや相談に応じてくれています。生徒だけや保護者のみでも相談は可能です。相談予約は、学校へ連絡をいただければ日時を調整いたします。相談内容等、秘密は厳守します。

質問項目 14 学校は学校の活性化に向け、保護者との連携によりPTA活動を推進していこうと努力している。（総務部）

今年度も新型コロナウイルス感染症が拡大して、PTA総会やPTAの各行事が中止になりました。体育祭や城西祭は実施しましたが、保護者の参加ができなくなりました。

委員会活動としては、総務委員会が「PTAだより」を2回発行予定です。厚生委員会は、城西祭バザーが中止になり、各種球技大会も中止になり活動ができなくなりました。研修委員会は12月に松江市方面に研修旅行を計画、28名のご参加をいただきました。年3回の丸亀市PTA連絡協議会主催の各種球技大会もすべて中止になりました。

質問項目 15 学校の施設・設備は、学習環境の面から適切に整備されている。（総務部）

様式トイレへの改修を県に要望していますが、予算が厳しくブース単位での改修になっています（本年度は東館2ブース改修）。今後、本館トイレの改修も要望していきます。現在、城西高校の校舎全体の63%は洋式トイレ、残り37%が和式トイレです。トイレ改修は県立学校全体の課題になっています。また、雨天時の第2体育館への移動については、何らかの改善策を県へ要望していきます。

記述欄のご意見について

- | | |
|------------------|------------------------------|
| ① 授業改善、定期考査等について | ② コース選択説明会・進路説明会・進学就職相談等について |
| ③ 学校行事等について | ④ 部活動について |
| ④ 生徒指導について | ⑥ 学校との連絡・連携について |
| ⑦ 施設・設備について | ⑧ その他 |

記述欄では、上記の項目を中心に学校の諸活動全般において、さまざまなご意見やご提言をいただきました。今回ご協力いただきました保護者の皆様による学校評価アンケート、生徒による授業評価、学校評議員による外部評価、教員の自己評価をもとに、学校の教育活動について検証を行い、改善を進めてまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。